



令和2年度報告

青少年赤十字新聞 第16号 やまぐち版 令和3年3月発行

コロナ禍でのJRC活動



◆令和元年度（コロナ前）

山口市立湯田小では、毎年学校向かいの老人ホームを訪問しハンドマッサージを贈る交流を実施していますが、今年度は感染症流行下のため訪問が叶わず施設前で手を振りました。入居者は窓から手を振り返しマイクで感謝の気持ちを伝えました。



◆令和2年度

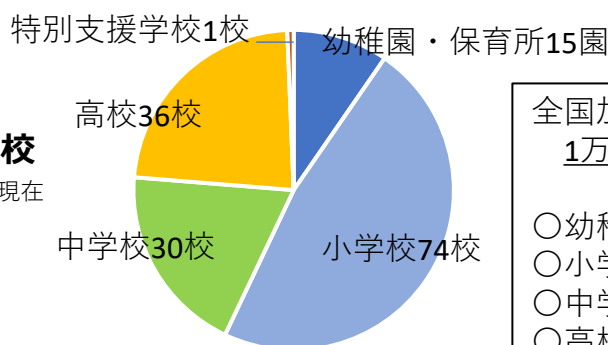
東日本大震災10年



◆石巻市からのオンライン語り部ライブ

日赤宮城県支部主催で開催されたこの語り部ライブに、県内から光市立室積小5年生、山口市立川西中2年生、萩高校JRC部から111名（全国では延べ1万人）が参加し、被災者の生の声を聴き災害の教訓を学びました。また萩JRC部は後日、エフエム山口に出演し、語り部から学んだことを県内に広める活動に繋がりました。

令和2年度 県内加盟**155園・校**
令和3年3月末現在



令和2年度 新規加盟**6校**

光市立上島田小学校、柳井市立日積小学校
光市立浅江中学校、周南市立鼓南中学校、長門市立仙崎中学校

全国加盟数
1万4,680校 / 351万1,861人

○幼稚園・保育所	1,741園・所
○小学校	7,184校
○中学校	3,622校
○高校	1,932校
○特別支援学校	201校

令和2年3月末現在

1 令和2年度 県支部JRC活動助成

	助成申請校	活動名	人数
1	岩国市立美和西小学校	美和西小環境美化プロジェクト	58
2	平生町立佐賀小学校	佐賀小学校VS活動	44
3	山口市立小郡小学校	自然体験、福祉体験、たすけあい運動、昔遊び大会	627
4	周南市立岐山小学校	環境緑化・ボランティア活動	434
5	山口市立興進小学校	クリーン活動、福祉体験、高齢者とのふれあい体験、募金活動	99
6	山口市立柚野木小学校	トレセン	5
7	周南市立鼓南小学校	ふれあい親子作業	11
8	柳井市立柳東小学校	クリーン大作戦	203
9	山口市立平川中学校	平川中美花プロジェクト I	408
10	下関市立関西小学校	関西小学校おはピカDay(あいさつ、ゴミ拾い活動)	55
11	山口県鴻城高等学校附属幼稚園	お泊まり保育	81
12	萩市立旭中学校	第1回クリーン作戦	35
13	岩国市立米川小学校	①敬老の手紙②米川小ふれあいフェスタ	45
14	山口市立嘉川小学校	自然体験教室	27
15	岩国市立御庄小学校	トレセン	13
16	山口市立仁保小学校	ふれあい合宿	16
17	防府市立勝間小学校	トレセン	51
18	下関市立宇賀小学校	宇賀小・小串小合同トレセン	20
19	周南市立福川小学校	環境学習、奉仕活動	56
20	光市立室積小学校	防災教育	37
21	光市立周防小学校	野外体験学習	13
22	防府市立右田小学校	宿泊学習	101
23	柳井市立柳井南小学校	宿泊体験活動	12
24	山口市立平川小学校	チャレンジ学習	140

25	岩国市立小瀬小学校	トレセン	13
26	山口市立大殿小学校	自然体験学習	92
27	下松市立中村小学校	宿泊学習	48
28	周南市立秋月小学校	自験活動	54
29	岩国市立愛宕小学校	自然教室	77
30	光市立浅江中学校	虹ヶ浜海岸清掃	128
31	山口市立佐山小学校	宿泊学習	11
32	光市立東荷小学校	アドベンチャーツアー	16
33	下松市立久保小学校	宿泊学習	50
34	光市立岩田小学校	メモリアル旅行	60
35	柳井市立柳井小学校	宿泊学習	102
36	美祢市立厚保中学校	花壇作り	30
37	岩国市立藤河小学校	自然教室	19
38	岩国市立杭名小学校	自然教室	24
39	岩国市立周北小学校	地域清掃	8
40	光市立塩田小学校	地域清掃	25
41	岩国市立修成小学校	地域清掃	14
42	山口県立萩高等学校	東日本大震災10年オンライン語り部ライブ	17

42園・校の3,379名のJRC活動に対し、740,000円の助成を行いました。

※昨年度：85校・1,430,000円

2. 令和2年度 県支部主催の事業

中学校トレセン

(リーダー養成研修会“リーダーシップ・トレーニング・センター”)

活動フォトコンテスト

令和3年2月6日、8校から46名が参加し、感染症をテーマに「健康・安全」「差別・偏見」について意見交換を実施。トレセン初のオンライン開催となりました。※夏休みに開催予定だった小・高トレセンは中止しました。



7校から14作品の応募がありました。
作品はホームページからご覧ください！

3. 令和2年度 日赤本社主催の事業

JRC/RCY International Meeting (青少年赤十字国際交流事業)

11月15日、国内の加盟高校41校とアジア・太平洋州の18カ国、総勢500名をオンラインで繋ぎ、感染症をテーマに各国での影響や差別・偏見について英語で話し合いました。

※オリンピック記念青少年総合センター（東京都）で隔年開催している行事です。



当支部からは、華陵高校（高校協議会会長校）のJRCメンバーから3名が代表で参加しました。



当支部からは、下関南高（高校協議会副会長校）のJRCメンバーから15名が代表で参加しました。

※東照館（山梨県）で毎年4泊5日で開催している行事です。

スタディ・プログラム

令和3年3月20日、国内の加盟高校92校から200名以上をオンラインで繋ぎ、①感染症流行下において赤十字活動の根源であるいのちの大切さを学ぶこと②新たなコミュニケーションの方法であるオンライン上で協働を学ぶこと、を目的に「リーダーになるために必要なこと」について学びました。

4. 赤十字の特色を活かした各校でのJRC活動

① 国際理解・奉仕の心を育む ～子どもたちの“優しい気持ち”を日赤が海外へ届けます～

1円玉募金 は、「子どもたちが自分たちのお小遣いの中から出せる金額で奉仕をしよう」と始まりました。通年募集しており、海外支援事業に活用します。（集まった募金で実施した事業については、写真スライド集をご提供いたします。）

NHK海外たすけあい は、毎年12月1日～25日の間、NHKと共同で実施する海外支援のための募金キャンペーンです。11月にキャンペーンポスター・募金箱・お振込み用紙を加盟園校におお送りします。 ※赤い羽根共同募金会が同時期に行う「NHK歳末たすけあい」は国内支援のための募金キャンペーンです。



（写真左）日赤県支部向かいにある山口市立大殿小は、毎年1円玉募金を持参されます。（写真右）山口市立湯田小JRCメンバーが校内で1円玉募金活動を実施する前に、支援内容をポスターにまとめました。

集めた1円玉募金は？

指定口座にお振込み後はお電話でご一報ください。（手数料無料）

- ゆうちょ銀行 01590-3-4076
 - 山口銀行 普通 100606
- 名義：日本赤十字社山口県支部

② 防災・減災のための活動 ～いのちを守る活動を、校内・地域で広めてください～

災害について学ぶことは自身のいのちを守るため、そして地域を守ることに繋がります。各校での防災教育に赤十字の教材を活用してください。教材の無償提供のほか、講師派遣し、防災ワークショップを行うこともできます。



(写真左) 令和3年3月3日、萩高JRC部が萩幼稚園で、日赤の教材を使った防災講習を実施しました。



(写真右) 令和3年3月8日、野田学園幼稚園。日赤の教材「きけんはっけん!」を使った防災講習の様子

③ JRCシンボルツリーの植樹 ～赤十字発祥の地に群生するイトスギ～

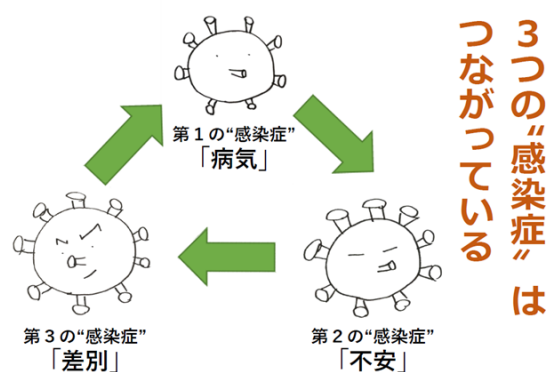
アンリー・デュナンは、イトスギが群生するイタリアの“ソルフェリーノの丘”で、「傷ついた兵士はもはや兵士ではない。同じ人間である。」と考え後に赤十字を創設しました。世界初のノーベル平和賞を受賞した赤十字創設者の思いをイトスギの植樹を通じて子どもたちに伝えてください。

④ 新型コロナウイルスから 体と心を守るために

「**新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう**」は、学校で活用できるよう日赤が作成した資料です。県内では上宇部中学校がこの資料を使って教員による授業を行ったほか、小学6校、中学1校、高校2校からは講演依頼を受け職員を派遣しました。



11月25日、山口中央高校JRC部が、県内7校目となるイトスギの苗木を校内に植樹しました。この植樹事業は、県内の青少年赤十字を支援する賛助奉仕団が行っています。



わからないことがおおいと、
ふあんなきもちになります。



“てき”はどっち？





青少年赤十字 (JRC) 導入・活用のメリット

青少年赤十字は特別なことではなく、 学校教育が目指すところと合致している

学校教育の現場では、「日ごろの学校生活をJRCのフィルターを通して評価すること」が青少年赤十字の活動です。新学習指導要領にある「人間尊重の精神」「生命に対する畏敬の念」「豊かな心」は、赤十字が目指す「人道の実現」と合致しています。



何を実践するかは学校や園の自由裁量です

日赤では、青少年赤十字の活動のための資料提供、学校間連携の支援、教員・生徒向けの研修などを実施していますが、義務的な児童・生徒会への位置づけ、活動の強制などは一切ありません。

青少年赤十字を支援するボランティアグループがあり ます

県内のJRC活動を支援する“山口県青少年赤十字賛助奉仕団”があります。青少年赤十字の指導経験がある元教員や現役の教員の方々に組織されています。



加盟特典

1. 講習指導員の 派遣

- ①救急法講習
- ②水の事故から子どもの命を守る講習（水上安全法）
- ③防災・減災講習、ワークショップ

2. 講演講師の 派遣（例）

- ④小中：平和学習、国際理解
赤十字の難民支援・核兵器の恐ろしさ
- ⑤高校：国際理解
山口県からヨルダンに派遣された国際救援要員
- ⑥共通：「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！」
「人道のこころ（仮タイトル）」



3. 教材の貸し出し・提供

救急法

⑦ 胸骨圧迫練習クッション「あっぱくん」

防災・減災

⑧ 「まもるいのち ひろめるぼうさい」（授業型） 地震や風水害など様々な災害を想定した教材です。

⑨ 「大雨防災ワークショップ」（ワークショップ型） 下関地方気象台などと共同製作

※⑧⑨共通：冊子とCD-ROMが付いています。

⑩ 「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！」 ※A1イラストシート

国際

⑪ 「1円玉募金でできたこと」※パワーポイントスライド

福祉

⑫ 高齢者疑似体験セット

園児向け ⑦・⑩
小中向け ⑧・⑨・⑪・⑫
高校向け ⑧・⑫



各学校でJRCをご担当される先生（JRC指導者）へ 広報ご協力をお願い

青少年赤十字を含む県支部全ての事業は、県民の皆様からの善意の寄付金により行っています。よって事業を継続するためには、寄付に協力される県民の理解が欠かせません。

JRC加盟校におかれましても、各校でのJRC活動を広報していただきますようご協力よろしくお願いいたします。



協力方法

1. 赤十字活動中は、可能な範囲で**JRC旗**や**JRCバッジ**を活用
2. 学校が作成する**ホームページ**や**広報誌**などに、JRC活動を報告
3. 日赤が活用できる**写真**があれば、メール（データ）提供を
4. 毎年10月～12月に募集する「**JRCフォトコンテスト**」にご応募ください！



JRCは2022年、創設100周年を迎えます

募集します！

各校の特色ある活動や指導の思い出などを教えてください。



応募先：日本赤十字社山口県支部 「JRCの思い出」係
メール：info@yamaguchi.jrc.or.jp FAX：083-932-3615

《山口県支部の動き》

- 1888（明治21）年 山口県支部設立
- 1923（大正12）年 県下小学校に支部少年赤十字団（JRCの前身）を組織し始める
- 1948（昭和23）年 戦時中のため中止していたJRC普及を新体制のもと再建発足
県教育委員会および県教職組合と第一回青少年赤十字運営委員会をひらく
最初の加盟校 灘小（岩国）、小串小・内日小（旧豊浦郡）、向陽小（旧大津郡）
亀山中（山口市 ※現在の大殿・白石中）
- 1950（昭和25）年 山口県立下松工業高等学校が高校初加盟
- 1955（昭和30）年 県内初のトレセンを開催

今日現在155園・校に
加盟がひろがりました

【発行】日本赤十字社山口県支部 事業推進課 〒753-0094 山口市野田172-5
電話 083-922-0102 FAX 083-932-3615 メール info@yamaguchi.jrc.or.jp